



## 医薬バイオテクノロジー委員会 (委員数28名/担当:山西 了常務理事)

### ◆ 概要 :

医薬バイオ分野の知財問題研究を通じて情報発信・提言活動等を行う

### ◆ 活動方針 :

- **第一小委員会** (9名) : 「次世代バイオテクノロジー関連ビジネス (医薬品、食品、化粧品、環境、化学品など) における知的財産戦略」
- **第二小委員会** (6名) : 「医薬・バイオテクノロジー分野におけるビジネスエコシステム (産学官連携を含む) の知的財産に関する研究」
- **第三小委員会** (6名) : 「ライフサイエンス分野における的確な保護を求めるためのグローバルな意見発信」及び「次期テーマ検討—Keyword : 近未来医薬バイオ技術 (サステイナブルバイオテクノロジー、デジタルセラピューティクス、アストロバイオテクノロジー等) に関する知財研究」
- **CBD WG** (6名) : 生物多様性条約 (CBD) 対応

### ◆ その他の活動 :

- WIPO SCP/WIPO IGC, COP対応
- 弁理士会 (バイオ・ライフサイエンス委員会) や特許庁 (審査基準室) との意見交換会等





## 第一小委員会（委員数 9名／小委員長：川本英二）

単年テーマ

### ◆ テーマ名

「次世代バイオテクノロジー関連ビジネス（医薬品、食品、化粧品、環境、化学品など）における知的財産戦略」

### ◆ 狙い

次世代のバイオテクノロジーを用いた関連ビジネス（医薬品のみならず、化成品、化粧品、食品等も含む）について、どのような会社がどのような知財を出しているのか、あるいは、どのような分野・技術において各社がどのような知財を出しているのかなどを調べる。

### ◆ 内容の概略

主に、CRISPR/Cas9 などのゲノム編集を用いた医薬品の開発や、健康・医療、素材・化学、環境・エネルギー、食糧の4分野におけるスマート・セルの利用について、知財的な観点から調査を行い、まとめる。

### ◆ アウトプット&スケジュール

FY2020：情報収集

FY2021/1-3Q：情報分析

FY2024/4Q：まとめ・論説投稿





## 第二小委員会（委員数 6名／小委員長：能村仲篤）

2年テーマ

### ◆ テーマ名

「医薬・バイオテクノロジー分野におけるビジネスエコシステム（エコシステム）の知的財産に関する研究」

### ◆ 狙い

医薬・バイオテクノロジー分野のエコシステムの現状および課題の紹介、エコシステムを成功させるための手段の提言を目指す。

### ◆ 内容の概略

OIの場を提供するプラットフォーマー（PF）と店子にインタビューを行い、エコシステムの現状確認、マッチングの課題、成功事例や失敗事例をまとめる。当小委員会や医薬バイオ委員会からの意見を取りまとめ、エコシステムを成功させるための手段の提言を行う。

### ◆ アウトプット&スケジュール

～FY2020 3Q：エコシステムの公知情報から現状把握。研究対象の絞り込み。

～FY2021 4Q：PFや店子へのインタビュー。

～FY2022 4Q：インタビューのまとめ、提言のための調査。

FY2023：論説投稿





## 第三小委員会（委員数 6名／小委員長：白木良太）

3年テーマ

### ◆ テーマ名

- a)「医薬バイオ分野における的確な保護を求めるためのグローバルな意見提言発信」
- b)中長期テーマ「近未来医薬バイオ技術に関する知財研究」

### ◆ 狙い

- a)意見提言、パブコメ対応等を通じて、医薬バイオ分野における知財の適切な保護を実現する
- b)近未来の医薬バイオ技術に関し出願状況等の分析を通じて、保護戦略、課題等を見出す

### ◆ 内容の概略

- a)各国特許制度等について、当委員会の意見をとりまとめ、パブコメ対応、意見・要望書を提出
- b)3か年テーマ(FY2021-23)として研究活動を行い、FY2024に論説投稿を行う

### ◆ アウトプット&スケジュール

- a)JPO向け中韓台要望検討、暫定版提出(4月-5月)、最終版提出(秋頃)
- a)SJC向け韓国要望書検討、提出(7月-8月)
- a)中国審査指南改正案検討、提出(8月-9月)
- b)3か年テーマスケジュール：FY2021:研究対象の抽出・絞り込み、FY2022:個別対象の技術、出願状況等の深掘り調査実施、FY2023:補足調査等実施、論説化。
- b)2021年7月時点で研究対象のタネとして20件弱抽出済。





## CBD対応WG（委員数 6名／リーダー：沖田良人）

### ◆ テーマ名

- ①WIPO IGCの情報収集と対応
- ②COP15に向けたDSI議論の情報収集と対応

### ◆ 狙い

遺伝資源の出所情報開示義務、DSIの取り扱いについての議論動向を確認し、産業界の特に知的財産権取得への対応が過度の負担とならないよう対応する。

### ◆ 内容の概略

- ①WIPO IGCで議論されている合意文書「International Legal Instrument（略称）」の議論の推移を見守り、過度な開示義務とならないよう対応する（開示義務阻止を含む）。
- ②CBDのCOP15に向けたDSI関連について主要国の情報収集を行い、動向を探る。特にDSIの取り扱いと知的財産権制度と関連した議論に進展しそうな動向を早めにキャッチし対応を検討する。

### ◆ アウトプット&スケジュール

- 2021年2Q DSIに関する各国情報のまとめ（3Q 知財管理誌投稿）  
2021年3Q DSIとIGCに関するアンケート実施（委員会内）、分析、対応検討  
関係団体との意見交換  
2021年3Q～4Q WIPO IGC41、COP15 での決定内容確認、今後の対応検討

